

cSWING 2010 リリースノート

2009.12.1 cSwing Japan

新機能

- **ユーチューブ・アップロード:** 表示されている映像をワンタッチでユーチューブにアップロードが可能になりました。この機能を使用するためにはユーチューブのアカウントが必要です。アカウントが無い場合、ユーチューブのサイト(youtube.com)で作成できます。なお、本機能はユーチューブを所有する Google の提供する利用規約および技術情報に基づき作成されております。それらの変更があった場合、本機能は動作しなくなる可能性があることをご了解ください。
- **カシオ Exilim 動画のメール送信:** カシオの Exilim プロ EX-F1 または Exilim EX-FH20 の動画のメール送信が可能になりました。
- **iPhone およびブラックベリー動画のサポート:** iPhone および ブラックベリーの動画が cSwing にインポート可能になりました。但し、すべての機種での動作を保証するものではありません。ご購入前に cSwing 2010 試用版をインストールして、ご使用の機種で動作するかご確認ください。
- **MP4 対応:**MP4 形式の動画インポートが可能になりました。この機能を使用するために、Apple のクイックタイムプレーヤーがインストールされている必要があります。
- **プレーヤー名変更:**プレーヤー選択画面で、登録済のプレーヤー名を変更できます。名前の登録を間違えた場合に、簡単に変更が可能になりました。

改良点

- **ファイルのインポート:** 日付指定による取り込みオプションが正しく動作しないケースについて、修正を行いました。これにより、パソコンとカメラの時間、タイムゾーン、DST が一致している必要がなくなりました。インポートの際に「最後のインポート実行後に作成された映像のみをインポート」にチェックを入れた場合、最後にインポートした映像を元に、取り込むべき映像を正しく判定するようになりました。
- **ビデオ再生表示の改良:** ハードウェアアクセラレータを使用し、少ない CPU リソースでスムーズな映像の再生が可能になりました。これによりラップトップのバッテリー消費を従来に比べ抑えることができます。

- **MOV ファイル対応:** 様々なタイプの MOV 形式ファイルをサポートいたしました。本機能を使用するためには、Apple のクイックタイムプレーヤーがインストールされている必要があります。MOV ファイルのキャプチャーおよびトリミングはサポートしておりません。トリミングを行う場合は、カメラ側の機能を使う、もしくはクイックタイムプロをご使用ください。
- **再生時のエラーメッセージ:** 再生時に発生する可能性があるエラー表示を変更し、より具体的に分かりやすい内容にいたしました。
- **15 日間の試用期間:** 試用期間は従来 7 日間でしたが、15 日に延長されました。
- **旧バージョンとの共存:** 旧バージョンの cSwing がインストールされている場合でも、cSwing2010 と共存が可能になりました。Windows のスタートメニューでは cSwing2010 と表示されます (従来は cSwing でした)。cSwing2010 のプログラムファイル名は cSwing2010.exe です。従来は cSwing.exe でした。cSwing 2010 ヘルプのファイル名は cSwing2010.chm です。従来は cSwing.chm でした。なお、標準インストールでは、新バージョンも旧バージョンと同じフォルダ (C:\Program Files\cSwing) にインストールされます。
- **設定のエクスポート:** 設定のエクスポートを行う場合、保存先フォルダとファイル名が指定可能になりました。またどの設定をエクスポートするかも指定可能になりました。全設定、プレーヤー情報、描画要素、用語から選択が可能です。
- **インパクト検知機能:** インパクト検知の仕組みを改良し、cSwing2006 に比べ環境やマイクに依存度の低いインパクト検知の設定が可能になりました。

不具合の修正

- **プレーヤーの映像選択:** プレーヤー名が日本語の場合、選択されているプレーヤーと [ファイル] ~ [開く] で選択されるプレーヤー名が、一致しない問題を解決いたしました。
- **CD 書き込み:** Windows Vista で、映像をメモリスティックに正しく書き込めない問題を修正いたしました。